

今季の大牟田市内漁協ノリ養殖の状況について

1. これまでの生産実績（第1～5回入札累計）

- (1) 販売枚数 10,377,800枚（前年比36.2%）
- (2) 販売金額 161,928,939円（前年比42.5%）
- (3) 平均単価 15.60円（前年比117.3%）

2. 秋芽網生産の状況

- ・10月末から植物プランクトンが多い状況が継続し、海水中の栄養塩が少ない状況となり、生育不良や色落ちが発生し、今までにない不作となる。
- ・あわせて11月後半に水温が下がらなかったため、品質低下も発生した。
- ・栄養塩減少が継続した要因として、今季増殖した植物プランクトンは普通にみられる小型珪藻類で、通常は2週間程度で減少していたが、それが長期化したため。また、10月末から11月初めにかけて日照量が多く穏やかな晴天が続いたため、植物プランクトンが増殖したと考えられる。

3. 冷凍網生産の状況

- ・1月から冷凍網生産期に入り、1月中旬の降雨と時化により、栄養塩が回復し色落ちはほぼ回復したが、その後の成長が十分みられず、多くの網を撤去した。
- ・1月下旬、寒波に伴う海上の強風と高波の影響で、ノリ支柱やノリ網の被害が発生した。

4. 不作、強風被害の対応等

- ・被害状況については、福岡有明海漁連において調査・集約中。
- ・今後、関係市・市議会・漁連・漁協並びに関係機関・団体と連携を図りながら、取り組みを進める。
- ・ノリや採貝の不調や強風被害等により大きな打撃を受けた漁業に対し、来年度以降の事業継続に向けた支援を行うため必要な予算を2月補正予算に計上。